

# 堀 江 正 弘 特別教授

---

役 職：グローバルリーダー育成センター所長、Young Leaders Program ディレクター

専門分野：行政学

学 位：MPA（シラキュース大学マックスウェルスクール）

略 歴：1970年 東京大学法学部卒

1971年 行政管理庁（後の総務庁、総務省）入庁

1972~1973年 シラキュース大学マックスウェルスクール（MPA 行政学修士）

1973~1974年 イェール大学管理科学部大学院（後の School of Government）

1981~1983年 臨時行政調査会調査員

1983~1985年 大蔵省主計局主計官補佐（主査）

1985~1988年 総務庁行政管理局副管理官、調査官、企画官

1988年 総務庁行政監察局監察官

1989年 臨時行政改革推進審議会主任調査員

1991年 総務庁行政管理局管理官

1995年 総務庁行政管理企画調整課長

1998年 総務庁長官官房総務課長、統計基準部長、国際連合統計委員会委員・日本政府代表

2000年 総務庁長官官房審議官（行政監察局担当）

2001年 総務省大臣官房審議官（行政管理局担当）

2002年 郵政事業庁次長

2002年 内閣官房内閣審議官兼内閣官房行政改革推進事務局長兼特殊法人等改革推進本部事務局長

2004年 総務省情報通信政策局長

2005年 総務省総務審議官

2006年 総務省退職

2006~2007年 総務省顧問

2001, 2002, 2005, 2006年 慶應義塾大学法学部非常勤講師

2000年 本学客員教授

2006年 本学教授

2009~2011年 学長特任補佐

2011~2013年 副学長

2009年~ Young Leaders Program ディレクター

2013年~ グローバルリーダー育成センター所長

2008~2014年 日本行政学会理事（2008~2010年国際交流委員長）

2015年~ 日本行政学会顧問

2013年~ 国際行政学会 International Institute of Administrative Sciences (IIAS) 諮問委員会委員長, Chairman、Programme and Research Advisory Committee

(PRAC), 執行理事会理事等、Ex-Officio Member, Council of Administration, etc.

2001年 Business Week 誌 Stars of Asia 賞 (政治行政部門、日本人公務員として初)

## 1. 業績 (A)

### (1) 論文 (単著)

- \* “Budgeting in Japan after the global financial crisis: postponing decisions on crucial issues” in *The Global Financial Crisis and its Budget Impacts in OECD Nations* edited by John Wanna, Evert A. Lindquist and Jouke de Vries, Elgar, 2015.

### (2) 学会発表

- \* The 2016 AAPA (Asian Association of Public Administration) Annual Conference in Thailand, “Addressing the Challenges of Decreasing Population in Ultra Aged Japan: Changing Politics of Governments and Roles of People” 年次大会でプレゼンテーション、2016年2月、チョンブリ、タイ

## 2. 教育

### (1) 講義

- \* Structure and Process of Government (英語、春学期後期—毎週2回)
- \* Introduction to Public Policy Studies (Petchko 教授と共同—堀江が Public Policy Studies (量的には全体の2/3の講義)を担当、Petchko が Academic Writing (全体の1/3)を担当、英語、秋学期全期間—毎週)
- \* Public Finance Program 学生に対する Leadership に関する講義 (2回)
- \* Young Leaders Program Colloquium (英語、秋学期及び春学期—原則隔週)
- \* Young Leaders Program Field Trip (下村教授と共同、英語、年2回)
- \* 公共経営と制度・組織設計 (日本語、秋学期全期間—毎週)

### (2) 演習

- \* Tutorial for G-cube: Public Administration (英語、春学期、3人)

### (3) 論文指導

- \* Young Leaders Program : 修士課程4名 (主指導、うち3名学位取得)
- \* One-year Master’s Program of Public Policy (MP1) : 修士課程1名 (主指導)
- \* GRIPS Global Governance Program : 博士課程1名 (主指導)
- \* マヒドン大学 (タイ) から受け入れの修士課程特別研究生に対する指導
- \* 外国人客員研究員 (中国人民大学講師) (1人) の指導
- \* ベトナム政府3か月研究・研修生に対する論文指導 (7人)

### (4) 研修事業

- \* タイ政府 Office of Civil Service Commission, PMLTP 研修の企画・実施 (責任者) 及び講義、ワークショップ等担当、5月に2週間実施
- \* タイ政府知事・副知事研修の講義を担当
- \* バングラデシュ政府内閣官房次官等研修の企画・実施 (責任者) 及び講義、ワークショップ等担当、1週間実施

- \* ベトナム副大臣級幹部研修の企画・実施（責任者）及び講義担当 2 グループ受け入れ、4月と10月に各2週間実施
  - \* ベトナム政府、局長級3か月間研修、2グループ受け入れ、4～6月、10～12月実施
  - \* インドネシア政府海洋漁業省職員研修の企画・実施（責任者）及び講義、ワークショップ等担当、8月に2週間実施
  - \* インドネシア政府 BAPPENAS 研修の企画・実施（責任者）及び講義、ワークショップ等担当、12月に2週間実施
  - \* タイ KPI 研修、講義（バンコクへの遠隔システムによるものを含め複数回）
  - \* マレーシア政府職員に対する研修・講義（11月）
  - \* 北京大学現代日本研究コース訪日研修一行に対する講義（5月）
  - \* 名古屋大学 YLP との交流/研修（6月）
  - \* タイでの研修事業の調整とプロモーション（2月）
  - \* EU などにおける研修事業等に関する調査（2月）
- (5) その他
- \* GRIPS と復旦大学との MOU に基づいて、公害環境対策に関する共同研究（2015年10月復旦大学で研究会、シンポジウム実施）
  - \* 中国人民大学公共管理学院教授等に対するセミナー（医療・福祉政策関係（1月））
  - \* 国際行政学会（IIAS）会長（ルーバンカトリック大学 Bouckaert 教授）をゲストスピーカーとしたセミナーの企画・実施（3月7日）

### 3. 管理・運営への関与

- (1) 委員会
- \* 研究教育評議会
  - \* 修士課程委員会
  - \* 疫学研究倫理審査委員会
  - \* グローバルリーダー育成センター運営委員会委員長
  - \* Young Leaders Program Committee 委員長
  - \* 地域政策プログラムコミティー委員
  - \* G-cube Committee メンバー
  - \* 外部評価委員会
  - \* 国際交渉力のある人材育成プロジェクト「外交アカデミー」
- (2) タスクフォース
- \* International Advisory Committee (IAC) TF（コンソーシアム発展関係）
- (3) その他
- \* グローバルリーダー育成センター所長
  - \* Young Leaders Program ディレクター

### 4. 社会的貢献（A）

- (1) 国および地方公共団体における審議会等の活動
- \* 文部科学省 Young Leaders Program 協議会委員
- (2) 他大学・研究所等における活動

- ① 非常勤講師（顧問教授、客員教授等）
  - \* 北京大学、復旦大学、南開大学、北京外国語大学
  - \* 北京大学講義（2016年3月26日～29日）
  - \* 自治大学校国際研修講義（2015年6月16日）
  - \* JICA・人事院国際行政研修講義（2015年6月3日、11月4日、2016年2月15日）
- (3) 学会等における活動
  - \* 日本行政学会顧問（2015年5月～）
  - \* IIAS（International Institute of Administrative Sciences）の Programme and Research Advisory Committee（PRAC）の委員長（Chairperson）として、また、Council of Administration（理事会）、Strategy Committee（戦略委員会）などのメンバーとして、IIASの活動の企画、検討、実施に参画（2013年6月～現在）
  - \* IIAS 2016年年次大会（2016年、中国で開催）のためのテーマ、サブ・テーマ、call for paperの検討、general rapporteur, rapporteurの選考等
  - \* AAPA（Asian Association of public Administration）年次大会（2016年2月、チョンブリ、タイ）に出席、Opening Plenary Sessionのパネリスト、分科会の chairman, moderator、自身の論文（Addressing the Challenges of Decreasing Population in Ultra Aged Japan: Changing Politics and Roles of Government and People）の発表等
  - \* 中日経済技術研究会「中日ビジネス交流と物流システム建設シンポジウム」で講演（2016年3月27日、北京）
- (4) その他
  - \* 国際フォーラム「行政苦情&オンブズマン」（2016年3月8日、総務省主催）の moderator

## 5. 社会的貢献（B）

- (1) ジャーナリズムを通じた発言
  - ① 活字メディア
    - \* 「『グローバル人材』の育成とは」行政&情報システム、2015年6月。
    - \* 「リー・クアンユーとシンガポール」行政&情報システム、2015年10月。
    - \* 「中国はどういう国か、どう付き合うか、私の経験から考える」行政&情報システム、2016年2月